

令和2年度 事業報告書

特定非営利活動法人 Accept International

1 事業の成果

(1) 海外における国際協力活動

令和2年度は、ソマリア首都モガディシュ、ケニア共和国ナイロビ市内ソマリア人難民居住区イスリー地区・マジェンゴ地区、ソマリアとケニアの国境地域マンデラ、インドネシア中部スラカルタやその他紛争やテロの影響を受けている国や地域を対象として、暴力的過激派組織への加入防止と脱退促進を軸とする平和構築事業を展開した。

① ソマリア事業部の取り組み

- ソマリア政府との協働で、イスラム過激派組織アル・シャバーブからの投降兵・逮捕者を対象として彼らの脱過激化・社会復帰を支援する DRR プロジェクトを実施した。2021年3月末までに221名（内投降兵108名、逮捕者113名。間接支援を含めると約1,070名）へプログラムを提供、そのうち177名（内投降兵88名、逮捕者89名）が基準をクリアした上で釈放を迎えた。
- さらに、2020年8月より、「アル・シャバーブからの投降促進オペレーション」を開始し、ソマリア国軍やコミュニティリーダーと連携しながら、新たな投稿を促すためのリーフレットを制作・配布、ホットラインによる相談対応の実施をした。成果として同年3月末までに110名が投降。イギリスの評価専門機関によれば、一人当たり1,900万円ほどの社会的インパクトを生み出すことができた。
- COVID-19の感染拡大に伴い、現地活動先の刑務所における感染症対策・予防支援を行った。

② ケニア事業部の取り組み

- 首都ナイロビ・ソマリア人難民居住区イスリー地区・マジェンゴ地区、ソマリア人ギャングを中心とした若者を対象に脱過激化・収入創出プロジェクトを実施した。本事業では、脱過激化セッション、スマートフォン修理スキルトレーニング、ライフスキルトレーニングから成り立つワークショップに加え、長期的なフォローアップを提供した。成果として累計約230名に対してプロジェクトの実施がされた。またギャング組織「Kosovo」の受け入れを開始した。
- スマートフォン修理スキルトレーニングの内容の改善を行った。具体的には、英語を理解できない参加者や識字能力の高くない参加者でも分かりやすいようテキストの改善を行った。さらに、スマートフォン修理に並ぶ新たなスキルトレーニングについてリサーチ・検討をした。
- COVID-19の感染拡大に伴い緊急支援として、イスリー地区、ソマリア国境に近いマンデラ群において、約100,000人に対し、感染症予防のための手洗いステーションの設置と啓蒙・啓発活動を、国連居住計画や現地ユース団体と協働で行った。
- 現地 NGO 登録や現地職員の雇用など、より本格的・継続的な活動のための基盤整備を実施した。

③ インドネシア事業部の取り組み

- 現地 NGO である LKLG と合同で、元"テロリスト"への脱過激化・社会復帰支援を実施した。インドネシアの土着のテロ組織ジェマ・イスラミヤや、外国人戦闘員として IS やア

ル・カイダに所属していた者のべ約 40 名を対象に、脱過激化セッションと社会復帰セッションの 2 種類を提供して、彼らの脱過激化・社会復帰を支援した。

- COVID-19 の影響があり、日本人スタッフの渡航は叶わなかったものの、現地協働先と連携し、2019 年度のプロジェク参加者を含めて、個別でのフォローアップのための家庭訪問や職場訪問を実施した。フォローアップの中で、経済苦や彼らが所属する過激傾向の強いコミュニティの存在などの課題が浮かび上がっており、個々の事情に合わせた支援プログラムを組んで、少額の融資などのサポートを行なっている。
- COVID-19 の感染拡大に伴い、脱過激化・社会復帰支援プロジェクトの参加者と連携し、過激化リスクの高いコミュニティの 210 名に対して緊急支援セットの配布を行った。
- インドネシアと日本の専門家チームとの共同で、若者の「オンライン過激化」の防止を目指した「Collective Impact for Online Radicalization (CIOR) プロジェクト」を開始した。オンライン過激化防止のためのコンテンツ作成を進めるとともに知見や問題意識の共有を進めている。

④ 海外事業局の取り組み

- イエメンでの DRR プロジェクトの実施可能性について検討、現地パートナーとの契約を結び、2021 年度の開始を想定して初期準備を開始した。
- 近年の Youth への注目に対して、様々な背景から過激せざるをえなかった若者たちの権利の言及が少ないことを背景に、彼らの権利の尊重を訴える条約案の検討・作成を開始した。

(2) 国内における国際協力活動

深刻な問題に取り組んできた中で聞いてきた日本国内のニーズに対応するべく、海外事業で培ってきた知見とネットワークを活かしながら、2020 年 11 月より本格的に国内事業を開始した。

① 社会復帰・社会統合事業部の取り組み

- COVID-19 の感染拡大を受け、深刻化した在日外国人、とりわけイスラーム教徒の方々の失業やリストラの問題に対応するべく、イスラーム教徒を中心とする在日外国人支援を開始した。主にポータルサイトやチラシを活用した情報提供と、電話相談窓口の設置・相談対応を行った。成果として約 3,700 名への情報提供、個別対応により 32 名の抱える問題の解決を支援ができた。

② 更生保護支援事業部の取り組み

- 社会からしばしば敬遠される非行少年の社会復帰と再犯防止と COVID-19 の影響による支援の制限の改善のため、彼らをケアする民間ボランティアの保護司に着目。若手保護司育成のための啓発・啓蒙活動を実施、保護司の条件緩和等より開かれた制度になるよう保護司制度への提言活動の検討、また保護司や法務省、更生支援に関わる団体などとの情報共有や意見交換を行った。

(3) その他の取り組み

- 2021 年に設立 10 周年を迎えるにあたり、ビジョン・ミッション・バリューを改めて整理。
- 継続寄付制度において個人寄付者 265 名、法人寄付 4 社の登録を得て、総数が個人寄付者 540 名、法人寄付 5 団体となった。
- 講演やメディア出演による啓蒙活動を積極的に実施し、講演 104 回（当法人主催イベント含む）、新聞掲載 1 回、テレビ出演 1 回、ラジオ出演 1 回、記事掲載 4 回を実施した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【17,021】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
紛争地域或いは紛争の懸念がある地域の人々の支援活動及び国際協力活動	ソマリア政府との協働事業・DRRプロジェクトの実施、投降促進オペレーションの開始	通年	ソマリア・モガディシュ	4名	イスラム過激派組織アル・シャバーブからの投降兵・逮捕者	211名	9,865千円
紛争地域或いは紛争の懸念がある地域の人々の支援活動及び国際協力活動	現地の治安悪化に関わるソマリア人ギャングを対象とした脱過激化・収入創出プロジェクトの実施	通年	国内(遠隔)及びケニア・ナイロビ	10名	ナイロビ難民居住区在住のソマリア人ギャング	約230名	2,005千円
紛争地域或いは紛争の懸念がある地域の人々の支援活動及び国際協力活動	インドネシア中部ジャワ・スラカルタにおける釈放された元"テロリスト"を対象とする脱過激化・社会復帰支援事業	通年	インドネシア・スラカルタ	11名	釈放された元戦闘員	約40名	84千円
紛争地域或いは紛争の懸念がある地域の人々の支援活動及び国際協力活動	ソマリア政府協働・COVID-19感染症対策・予防支援	4月～8月	ソマリア・モガディシュ	4名	イスラム過激派組織アル・シャバーブからの投降兵・逮捕者	約1,070名	406千円
紛争地域或いは紛争の懸念がある地域の人々の支援活動及び国際協力活動	国連居住計画協働・COVID-19感染症対策・予防支援	4月～8月	ケニア・ナイロビ、マンデラ	3名	・ナイロビ難民居住区在住のソマリア人ギャング・地域住民 ・ケニアとソマリア国境マンデラ在住の若者・地域住民	約100,000名	1,209千円
紛争地域或いは紛争の懸念がある地域の人々の支援活動及び国際協力活動	COVID-19感染症対策支援	4月～8月	インドネシア・スラカルタ	11名	インドネシア・スラカルタなど過激化リスク	210名	376千円

						の高いコミュニティの住民		
その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	若者の「オンライン過激化」の防止を目指した「Collective Impact for Online Radicalizationプロジェクト」の開始	11月～	日本・インドネシア	11名	オンライン過激化リスクのある若者	20名	142千円	
その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	在日イスラーム教徒を中心とした在日外国人支援	11月～	国内	7名	在日イスラーム教徒	約 3,730名	1,409千円	
その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	非行少年の社会復帰にかかる支援・保護司制度改革への提言活動	11月～	国内	8名	国内の非行少年	約 10名	524千円	
人権の擁護と平和の推進を図るための啓発活動・情報収集	マスメディアやソーシャルメディア及び各種イベントの開催による啓発活動	通年	国内・オンライン	23名	一般市民	約 2,000名	1,001千円	

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)

令和2年度 活動計算書(その他事業がない場合)

特定非営利活動法人 Accept International

(単位:円)

科目	金額	小計・合計
【A】 経常収益		
1 受取会費		630,000
正会員受取会費	190,000	
賛助会員受取会費	440,000	
2 受取寄附金		23,685,338
受取寄附金	23,685,338	
3 受取助成金等		19,056,508
受取助成金	19,056,508	
4 事業収益		1,252,808
啓蒙啓発 事業収益	1,200,228	
自主事業収益	52,580	
5 その他の収益		80,503
受取利息	113	
雑収益	80,390	
経常収益計		44,705,157
【B】 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		7,199,984
給料手当	6,452,190	
臨時雇賃金	744,978	
通勤費	2,816	
(2) その他経費		9,337,032
売上原価	70,706	
業務委託費	1,258,055	
諸謝金	407,816	
印刷製本費	539,876	
会議費	93,133	
旅費交通費	2,035,776	
通信運搬費	45,490	
消耗品費	2,771,329	
修繕費	83,884	
地代家賃	600,000	
賃借料	580,102	
保険料	57,971	
諸会費	28,639	
研修費	159,353	
支払手数料	127,299	
支払助成金	477,603	
事業費計		16,537,016

2 管理費		
(1) 人件費		4,686,660
給料手当	3,354,114	
法定福利費	1,048,320	
通勤費	264,556	
福利厚生費	19,670	
(2) その他経費		2,570,104
業務委託費	718,000	
印刷製本費	20,210	
会議費	18,275	
旅費交通費	6,780	
通信運搬費	492,795	
消耗品費	394,344	
水道光熱費	122,377	
広告宣伝費	311,732	
諸会費	216,900	
租税公課	620	
支払手数料	267,908	
雑費	163	
管理費計		7,256,764
経常費用計		23,793,780
当期経常増減額【A】-【B】・・・①		20,911,377
【C】経常外収益		
固定資産売却益		
過年度損益修正益		
経常外収益計		0
【D】経常外費用		
固定資産売却損		
災害損失		
過年度損益修正損		
経常外費用計		0
当期経常外増減額【C】-【D】・・・②		0
税引前当期正味財産増減額①+②・・・③		20,911,377
法人税、住民税及び事業税・・・④		0
前期繰越正味財産額・・・⑤		10,465,864
次期繰越正味財産額③-④+⑤		31,377,241

令和2年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 Accept International

(単位：円)

科目	金額	小計・合計
【A】 資産の部		
1 流動資産		
現金	1,246,807	31,912,250
普通預金	26,142,557	
未収金	1	
前払金	4,522,885	
仮払金		
流動資産合計・・・①		31,912,250
2 固定資産		
(1) 有形固定資産		0
(2) 無形固定資産		0
(3) 投資その他の資産 敷金	142,884	142,884
固定資産合計・・・②		142,884
【A】 資産合計 ①+②		32,055,134
【B-1】 負債の部		
1 流動負債		
未払金	701,838	677,893
預り金	(23,945)	
流動負債合計・・・③		677,893
2 固定負債		
		0
固定負債合計・・・④		0
負債合計 ③+④		677,893
【B-2】 正味財産の部		
前期繰越正味財産額	10,465,864	31,377,241
当期正味財産増減額	20,911,377	
正味財産合計		31,377,241
【B】 負債及び正味財産合計 【B-1】 + 【B-2】		32,055,134

令和2年度 財産目録

特定非営利活動法人 Accept International

(単位：円)

科目	金額	小計	合計
【A】 資産の部			
1 流動資産			
現金預金		27,389,364	
手元現金	1,246,807		
三菱UFJ	13,270,889		
楽天	3,893,665		
ゆうちょ	3,907,028		
ジャパンネット	1,450,001		
ジャパンネット	88,145		
ジャパンネット	3,531,771		
GMOあおぞらネット	1,058		
未収金		1	
未収金	1		
その他		4,522,885	
前払金	4,522,885		
流動資産合計・・・①			31,912,250
2 固定資産			
(1) 有形固定資産			
車両運搬具			
什器備品			
(2) 無形固定資産			
ソフトウェア			
借地権			
(3) 投資その他の資産			
敷金		142,884	
八丁堀事務所	142,884		
長期貸付金			
固定資産合計・・・②			142,884
【A】 資産合計 ①+②			32,055,134
【B-1】 負債の部			
1 流動負債			
未払金		701,838	
預り金		(23,945)	

源泉徴収税	(6,915)	
特別徴収住民税	(54,800)	
その他	37,800	
流動負債合計・・・③		677,893
2 固定負債		
長期借入金		
退職給付引当金		
固定負債合計・・・④		0
【B-1】負債合計 ③+④		677,893
【B-2】正味財産合計 【A】 - 【B-1】		31,377,241

令和2年度年度年間役員名簿

(前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿)

特定非営利活動法人 Accept International

1 確認事項(法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。)

- 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。(法第20条関係)
 各役員について、親族の規定に違反していません。(法第21条関係)

2 役員一覧

No.	役名 どちらかに○	(フリガナ)	前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
		氏名		
1	<input checked="" type="checkbox"/> 理事 <input checked="" type="checkbox"/> 監事 ナガイヨウスケ 永井陽右		2020年 4月 1日 ～ 2021年 3月 31日	2020年 4月 1日 ～ 2021年 3月 31日
2	<input checked="" type="checkbox"/> 理事 <input checked="" type="checkbox"/> 監事 ヒライ(クロダ)サキ 平井(黒田)沙紀		2020年 4月 1日 ～ 2021年 3月 31日	年 月 日 ～ 年 月 日
3	<input checked="" type="checkbox"/> 理事 <input checked="" type="checkbox"/> 監事 シライシカスミ 白石香純		2020年 4月 1日 ～ 2021年 3月 31日	年 月 日 ～ 年 月 日
4	<input checked="" type="checkbox"/> 理事 <input checked="" type="checkbox"/> 監事 サイトウユウタ 齋藤悠太		2020年 4月 1日 ～ 2021年 3月 31日	年 月 日 ～ 年 月 日
5	<input type="checkbox"/> 理事 <input checked="" type="checkbox"/> 監事 クニヨシタイリク 国吉大陸		2020年 4月 1日 ～ 2021年 3月 31日	年 月 日 ～ 年 月 日
6	理事・監事		年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日
7	理事・監事		年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日
8	理事・監事		年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日
9	理事・監事		年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日
10	理事・監事		年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人 Accept International

	氏名	
1	小山朝陽	[Redacted]
2	永井陽右	
3	山崎琢磨	
4	白石香純	
5	杉本優香	
6	前田結生	
7	黒澤かおり	
8	安藤岳	
9	伊東正樹	
10	高橋一樹	
11		